

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	非小細胞肺癌定位照射における低ヨード密度腫瘍体面積および面積割合を用いた高精度予後予測法の確立			
2. 対象患者	2011年3月1日から2017年12月31日までに、体幹部定位照射の前に造影デュアルエネルギーCTが行われた原発性肺癌および転移性肺癌の方			
3. 対象となる期間	2011年 3月 1日 ~ 2017年 12月 31日			
4. 実施診療科等	弘前大学医学部附属病院 放射線治療科			
5. 研究責任者	氏名	田中 円葵	所属	放射線治療科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし			
7. 研究の意義	造影デュアルエネルギーCTにより測定した肺癌のヨード密度は腫瘍の血流量や腫瘍の低酸素状態と相関し、腫瘍のヨード密度の低下は放射線抵抗性の一因となっております。これまでの研究では肺癌の平均ヨード密度値での検討のみであり、そこへ面積やその割合の評価を追加した検討はありません。これらの項目を追加することにより、放射線治療を行った場合の治療成績を事前に高い精度で知ることができる可能性があります。			
8. 研究の目的	当院で定位体幹部放射線治療前の評価として造影デュアルエネルギーCTが実施された患者様のデータを診療録から振り返って調査し、ヨード密度が低下している腫瘍面積およびその割合と早期肺癌に対する体幹部定位放射線治療後の治療成績との関係を明らかにし、さらに精度の高い予後指標としての有用性を明らかにすることが本研究の目的です。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	対象となる患者さんの肺癌の組織型、全生存率、局所制御率などの情報を診療録より収集します。また、造影デュアルエネルギーCTのデータから肺癌のヨード密度を測定します。肺癌のヨード密度と、診療録から収集した患者さんのデータを統計解析します。			
10. 個人情報の保護	本研究は「ヘルシンキ宣言」(2013年10月修正版)、および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年12月22日制定)に従って行います。収集する情報には対象患者さん個人を特定するものを含みません。収集した情報は名前を削除し、この研究のための識別符号を付与して匿名化した上で解析し、研究結果発表の際も同様に個人を特定できる情報は使用致しません。本試験に携わる関係者は被験者の個人情報保護に最大限の努力を払います。対象患者様より拒否の申し出があった場合は研究対象から除外し、データを削除します。ただし、研究結果発表済みの場合等はそのデータを修正することはできませんのでご了承ください。			
11. 利益相反に関する状況	本研究は文部科学省科学研究費 2020年度若手研究(課題番号: 20K16749)から助成を受けています。			
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 放射線治療科 田中円葵			
	電話	0172-39-5103	FAX	0172-33-5627